

報 雜

◎人 事

臺灣總督府醫院醫長 島 山 長 作
(十二月二十日)
 依願免本官
 敘從五位 正六位 遠 藤 中 節
 敘正六位 從六位 關 正 次
(十二月十五日)
 年俸三千四百圓下賜 鐵道醫 山 口 龍 契
(十二月二十七日)
 敘正五位 從五位勳三等 佃 卓 三 郎
 海軍軍醫大佐從五位勳三等 佃 卓 三 郎
(十二月二十七日)
 特旨ヲ以テ位一級被進 緒 方 益 雄
(十二月二十七日)
 岡山醫科大學教授
 陞敘高等官三等
 岡山醫科大學助教授 大 熊 泰 治
 陞敘高等官四等
 岡山醫科大學助教授 林 香 苗
(一月十日)
 海軍水雷學校軍醫長兼分隊長海 栗 栖 幸 穂
 軍通信學校軍醫長海軍軍醫中佐
 補吳海軍病院部員
(一月十一日)
 從五位勳五等 桑 佐 八 郎
 帝國學士院規程第二條ニ依リ勅旨ヲ以テ帝國學士院
 會員被仰付
(一月十二日)
 正七位勳四等 矢 野 恒 太
(一月十六日)
 保健衛生調査會臨時委員被仰付
 臺灣總督府臺北醫 橫 川 定
 學專門學校教授
 二級俸下賜
 臺灣總督府臺北醫 杉 山 九 一
 學專門學校教授
(十二月二十六日)
 四級俸下賜

○藤田秀太郎君 大正14年岡山醫科大學長を辭し
 當市に於て開業し居られし同君は先般當地を引拂ひ

郷里福岡市大濠町に移住せられたり

○林 香 苗君 既記の如く生理學研究の爲め獨逸
 國に在留を命せられたる岡山醫科大學助教授林香苗
 君は本月14日神戸出帆の靖國丸にて出發せられた
 り

○島 山 長 作君 臺灣總督府澎湖醫長たる同君は別
 項の如く官を辭し岡山縣阿哲郡草間村湯川診療所に
 勤務せられたり

○黒 住 久君 は今般大阪市南區難波新地明治醫
 院を繼承し其院長となり主として性病泌尿器病皮膚
 科の診療に従事せらる尙ほ自宅に於ても依然診療を
 繼續せらるる筈なり

◎學位授與

山口節郎、河村九十九、美木俊雄の3君は論文を岡
 山醫科大學に提出し學位を請求し居られしか昨年
 11月21日の教授會を通過し本月9日醫學博士の學
 位を授與せられたり其主論文及び參考論文は左の如
 し

山 口 節 郎 君

主 論 文

「ウロビリソ」膽腸管内生成ニ關スル實驗的研究
 (日本外科學會雜誌第33回第3號ニ發表セリ)

參 考 論 文

1. 膽汁ヲ經口的ニ授與セシ場合ノ膽汁分泌消長
 ニ關スル實驗的並ニ臨牀的觀察 (本誌第44
 年第7號ニ發表セリ)
2. 椎骨弓除術ニ據ル限局性慢性脊髓膜炎ノ1治
 驗例ニ就テ (本誌第42年第8號ニ發表セリ)
3. 胸壁切除並乳房移植術ヲ施シタル Paget 乳腺
 癌ノ1治驗例 (本誌第43年第2號ニ發表セリ)

4. 小兒脊髓麻痺ノ手術的治驗 (グレンツゲピート第5年第7號ニ發表セリ)
5. 2, 3興味アル血管「レントゲン」撮影症例 (東京醫事新誌第2732號ニ發表セリ)

河村九十九君

主論文

脾臟結核ノ研究

- 其1. 脾臟結核ノ病理ニ就テ (通テ本誌ニ掲載スベシ)
- 其2. 脾臟結核ノ成因ニ關スル實驗的研究 (通テ本誌ニ掲載スベシ)

參考論文

1. 2, 3齧齒類ノ小腸各部ニ於ケル Paneth 氏細胞ノ分布ニ就テ (追テ本誌ニ掲載スベシ)
2. Paneth 氏細胞ノ分泌顆粒ニ關スル知見補遺 (本誌第40年第6號ニ發表セリ)
3. 腸管筋腫ニ就テ (本誌第44年第1號ニ發表セリ)
4. 重複性癌ノ2例ニ就テ (本誌第40年第11號ニ發表セリ)

美木俊雄君

主論文

炭水化物新陳代謝ニ於ケル膽汁酸ノ意義

1. 膽汁酸ノ肝臟糖原質生成促進作用ト植物神經系統 (東京生化學雜誌第15卷第1號ニ發表セリ)
2. 膽汁酸「アドレナリン」及ビ「インシュリン」肝臟糖原質生成ニ及ボス作用ト植物神經系統 (獨逸生化學雜誌第247卷第4—6號ニ發表セリ)
3. 膽汁酸及ビ「アドレナリン」ノ筋肉糖原質生成ニ及ボス作用ト内臟神經切斷 (獨逸生化學雜誌第247卷第4—6號ニ發表セリ)

參考論文

1. 米胚芽ノ「ヘキソナーゼ」ニ就キテ (追テ岡山醫科大學歐文業府ニ發表ノ豫定)
2. 米胚芽ノ生化學的研究 (第2報告) 「ビタミン」Aニ就キテ (追テ岡山醫科大學歐文業府ニ發表ノ豫定)
3. 膽汁酸ノ家兎血液ニ及ボス影響 (追テ岡山醫科大學歐文業府ニ發表ノ豫定)
4. 米胚芽ノ生化學的研究 (第1報告) 酵素ニ就キテ (本誌第43年第6號ニ發表セリ)
5. 猪膽汁中ノ膽汁酸ニ就キテ (澁谷成利; 美木俊雄共著) (獨逸生理化學第206卷第6號ニ發表セリ)